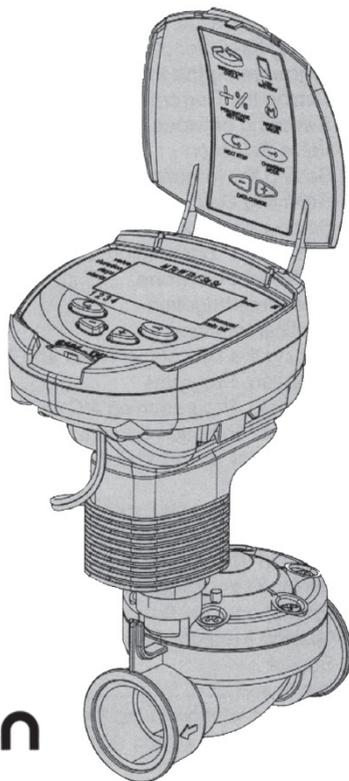


電池コントローラー付バルブ
ガルコン GT-6151 DC-1S

取扱説明書



IRRITEC

THE PARTNER of YOUR IRRIGATION SYSTEM

主な仕様

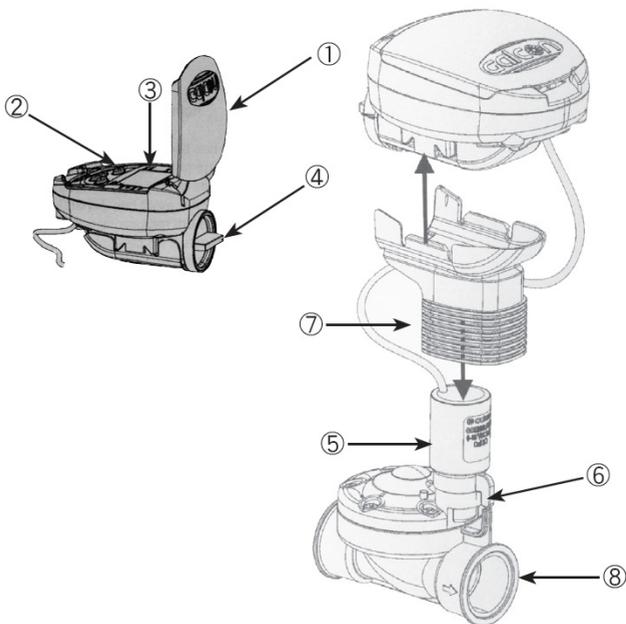
使用電池	9V アルカリ電池 × 2 個 (1 シーズンにて交換要) (付属はしていませんので別途お買い求め下さい。)
バルブネジサイズ	3/4" (20 mm) / 1" (25 mm) / 1.1/2" (40 mm) / 2" (50 mm)
灌水パターン	曜日設定又は間断時間 / 日数 1 分 ~ 30 日設定
1 日あたりの始動回数	最大 4 回 (曜日設定パターンのみ)
灌水時間	1 秒 ~ 最大 12 時間
センサー連動	無電圧接点式センサー用リード線付
手動灌水	コントローラー及びバルブ単体にてても可
防水性能	防滴 (浸水での使用は不可)

目次

1	部品の名称	1
2	灌水コントローラーを設置する	1
2.1	バルブとソレノイドの組立て	1
2.2	バルブによる手動操作	2
2.3	バッテリーの挿入	2
2.4	コントローラーを設置する	3
3	コントローラーをプログラムする	4
3.1	現在の時刻と曜日を設定する	4
3.2	AM/PM 表示と 24 時間表示の切替え	5
3.3	灌水時間の長さを設定する	6
3.4	灌水する曜日を選択する	6
3.5	灌水スタート時刻を設定する	8
3.6	プログラム例 (曜日設定して灌水スケジュールをプログラムする)	9
4	その他の機能	10
4.1	1 回だけの灌水	10
4.2	間断 (サイクル) 灌水	10
4.3	間断灌水・1 回だけの灌水に対し、始動日・時刻を設定する	11
4.4	プログラム例 (間断灌水スケジュールをプログラムする)	12
4.5	コントローラーでバルブの開閉を行う	13
4.6	コントローラーで自動灌水の停止を設定する	14
4.7	特定の割合で灌水時間の長さを増減する	15
5	その他の表示画面	16
5.1	バッテリー切れ予告表示	16
5.2	バッテリー切れ表示	16
5.3	灌水時間プログラムがされていない場合の表示	16
5.4	センサーの利用	17
6	保守点検	18
7	トラブル時の対策・補修	19
巻末 保証書		

1. 各部品の名称

- ① カバー
- ② 操作ボタン
- ③ コントローラー表示画面
- ④ バッテリー室カバー
- ⑤ ソレノイド
- ⑥ 手動操作レバー
- ⑦ マウントブラケット
- ⑧ バルブ



2. バルブの設置

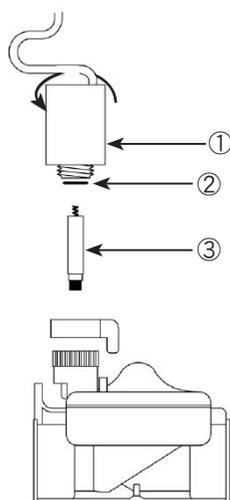
2.1 バルブとソレノイドの取外し及び組立て

ガルコンのバルブを設置する前に、配管上流側の止水弁を必ず閉じておいて下さい。ガルコンのバルブ専用にも止水弁を設けて下さい。

バルブを配管する場合は、コントローラー部分が邪魔になりますので、右図①のソレノイドを左に回して差込みアダプターから取り外し、ネジ込みを行って下さい。

配管が終了したら、ソレノイドをアダプターに取付けます。右に回し、ソレノイドをネジ込んで下さい。

注) ソレノイドには図の②Oリングシール、③プランジャーが装着されています。取外しの際になくさぬようにして下さい。



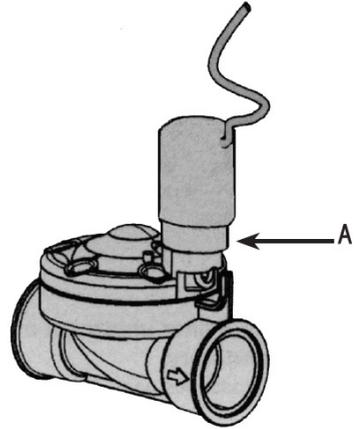
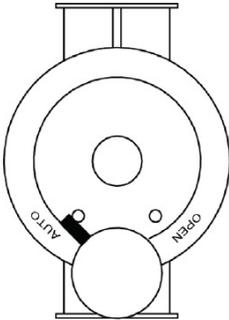
バルブの配管方向は、左図の矢印の刻印が水の流れの方向に合うようにして下さい。

注) バルブにソレノイドを取り付けないで、通水することは避けてください。

2.2 「マニュアル（手動）」によるバルブの開閉

バルブは、コントローラの作動とは無関係に、手動（マニュアル）で開け閉めすることができます。これは、コントローラのプログラムにふれずに急いで灌水したいときに役に立ちます。

手動操作レバー（左図 A）の位置が OPEN（バルブ開）、AUTO（オート）になります。



※ 注意！自動灌水する場合には、
バルブ操作レバーを AUTO の位置に合わせます。

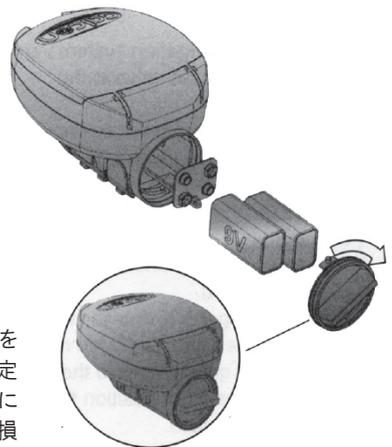
2.3 バッテリーを挿入する（右図参照）

バッテリー室のカバーハンドルを約 30° 時計と逆回りに廻すとカバーが外れます。

9V（アルカリ）の乾電池を 2 コ挿入します。コントローラー機能を表示する全てのメッセージが表示画面（ディスプレイ）上に現れ、ついで時刻の表示「12:00」が点滅します。これで、コントローラーのプログラム設定の準備は完了です。

※ 注意！

バッテリー室のカバーをとりつけるときは、そのつまみの先端をケース側突起位置に合わせて約 30° 時計回りに廻して固定して下さい。軽く廻すだけで固定されます。位置が合わずに無理に廻そうとすると、カバーの裏側にあるガイドピンを破損する恐れがあります。

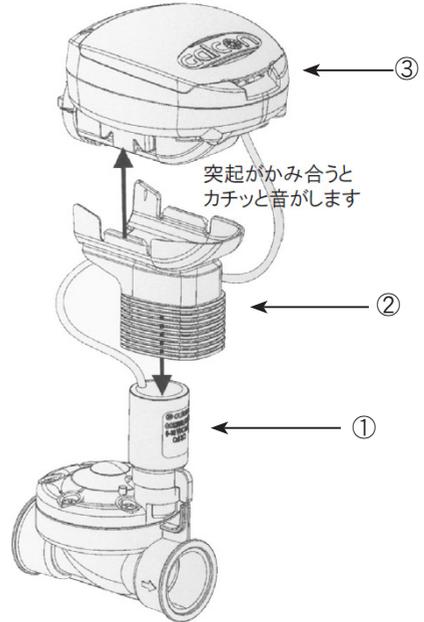


2.4 コントローラを取り付ける

コントローラはソレノイドの上部に付けることも、壁面に取り付けることもできます。

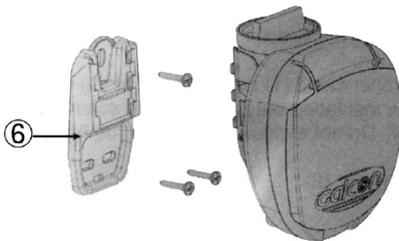
ソレノイドの上部に付ける

- 図①のソレノイドを回してバルブのアダプターから取外します。
- ソレノイドを図②に通し、アダプターに戻します。
注) バルブ操作レバーがオート(AUTO)の位置にあることを確認して下さい。
- 図②のマウントブラケットを図③のコントローラに取り付けます。
- ①のソレノイドにリード線を傷つけないよう②のマウントブラケットをかぶせます。



壁面に取り付ける

- 壁面に図⑥のプレートを図の向きに合わせて3本のビスで固定します。
- コントローラに装着されている図②のブラケットを、プレート上部よりスライドさせ押し込みます。



3. 灌水コントローラをプログラムする

この章では、簡単な灌水プログラムにたいするプログラム設定のステップについて詳しく説明します。

あとの章では、更に進んだ灌水コントローラの使い方について扱います。

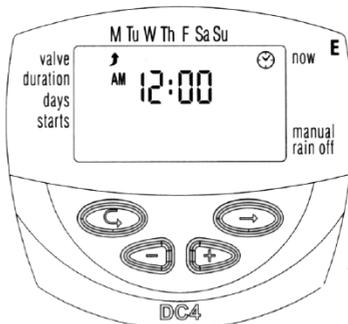
灌水コントローラのプログラム入力は、四つのボタンを押して行います。

- Ⓒ プログラミングステップ・セクタ - 希望するプログラムモード（設定画面）を選ぶのに用いる（例. 時刻設定モード）
- Ⓓ 設定項目選択ボタン - 変更したい設定項目を選ぶのに用いる（例. 時間、分、など）。ただし、点滅する項目だけが変更可能です。
- ⊕ データの値を大きくするためのボタン（増加） - 選択された設定項目の値を大きくします。（例. 時刻の選択にあたって、06:00 → 07:00）
- ⊖ データの値を小さくするためのボタン（減少） - 選択された設定項目の値を小さくします。（例. 時刻の選択にあたって、06:00 → 05:00）

3.1 現在の時刻と曜日をセットする

灌水コントローラを用いて希望する時間に灌水システムを稼働させるためには、現在の時刻と曜日を設定して下さい。

つぎに挙げたステップは、灌水日および時間の設定の仕方について説明しています。



1. 時計のマーク(🕒)が現れるまで🔄を
数回押し続けます。
2. 🔄を押します。時間を表わす数字が点滅します。
➕と➖を使って現在の時間をセットします。
(注. AM(午前)およびPM(午後)の表示は、時間を表わす数字の左側に現れます。)
3. 🔄を押します。分を表わす数字が点滅します。
➕と➖を使って現在の分をセットします。
4. 🔄を押します。表示画面の上部に点滅する上向きの矢印(↑)が現れます。
➕または➖を押して現在の曜日をセットします。
5. 🔄を押して、次のステップへ進みます。

* 画面上の数字は10秒後に点滅をやめます。
最後のデータ項目が点滅しなくなったら、つぎのプログラムに進むために
🔄を押します。

3.2 時間表示の方式を AM/PM から 24 : 00 に変更する

1. 時計のマーク(🕒)が現れるまで🔄を
数回押し続けます。
2. 🔄を押します。時間を表わす数字が点滅します。
3. ➕と➖を同時に押します。

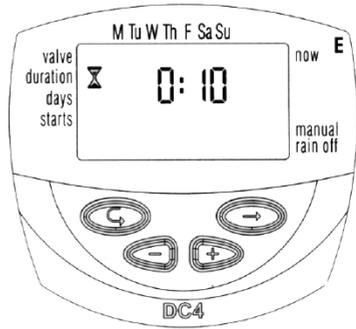
時計の読みが AM/PM から 24 : 00 に、
またはその逆に変更されます。

* 時間表示フォーマットは、
プログラム設定中のどの段階においても
変更できます。



3.3 灌水時間の長さをセットする

ここでの設定では、バルブが開いている時間の長さをセットします。



1. 砂時計のマーク(🕒)が現れるまで、

⏪ を押します。

2. ⏪ を押します。

時間を表わす数字が点滅します。

⏪ をもう一度押すと、分を表わす数字が点滅します。

⏪ をもう一度押すと、秒を表わす数字が点滅します。

(もう一度 ⏪ を押すと再び時間を表わす数時が点滅します。)

時間のモードおよび分・秒のモードごとに、⏩ または ⏪ を押して、希望する灌水時間の長さをセットします。

3. ⏪ を押して、次のステップへ進みます。

3.4 灌水日を曜日で指定する

ここでの設定では、バルブを灌水コントローラによって作動させる曜日をセットします。

1. こよみのマーク(📅)が現れるまで、

⏪ を押します。

2. ⏪ を押すと、点滅する(📅)が

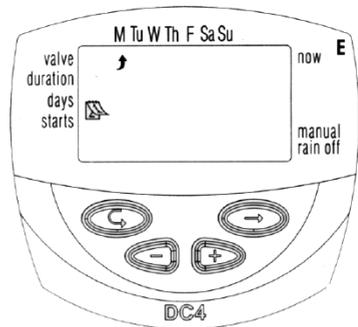
表示画面の上部の

Monday (月曜日) の下に現れます。

(注. M = 月曜日、Tu = 火曜日、

W = 水曜日、Th = 木曜日、

Sa = 土曜日、Su = 日曜日)



3. ⏪ を押しながら、

希望する曜日に(📅)を合わせます。

4. 灌水日を選択・追加する

-  を押します。選択された曜日の下の 矢印 () が点滅をやめ点灯します。
点滅する矢印 () が右に一つだけ移動して次の曜日 の下に現れます。
同じようにして、追加の曜日を選択します。
(点灯状態の曜日が灌水日になります。)

5. スケジュールされた灌水日の取り消し

- 取消したい曜日の下の矢印を  を押して点滅させます。
 を押します。選択された曜日の下の矢印 () が消えます。
明滅する矢印 () が右に一つだけ移動して次の曜日の下に現れます。
同じようにして、追加のスケジュールされた灌水日を取り消します。

6. を押して、次のステップへ進みます。

- ※ 点滅する矢印が Sunday (日曜日) の下にあるとき、 をもう一回押すと
ONCE が真ん中に現れ、画面右側の上隅に循環のマーク () (後述 4.4 参照)
が現れます。
「灌水日を選択・追加する」モードに復帰するためには、再び  を押します。

- ※ 注 . この設定画面で **ONCE** の表示状態のまま  を押して次のステップへ進みますと
循環モードが設定されますので、必ず曜日の設定画面 () が明滅している画面)
に戻してから  を押して次のステップへ進んでください。

3.5 灌水開始時刻をセットする

選択された灌水日ごとに一日に最大 4 回までの灌水開始時刻をプログラムすることができます。バルブは、セットされたそれぞれの開始時刻ごとに、前述 3.3 で設定された灌水時間の長さで開きます。



1. START I が現れるまで、**⏪** を押します。
OFF または、入力されている最後の稼働時間が 画面に現れます。
2. **⏩** を押します。表示されているデータが 点滅します。
(OFF または入力されている 最後の稼働時間)
3. **+** または **-** を押して希望する開始時間をセットします。
(注. AM および PM の表示は、時間を表わす数字の左側に現れます。) 同じことのくり返しにより、必要に応じて START II、START III、START IV にたいして開始時間をセットすることができます。
4. ある特定の開始時間を取り消したいときは、**⏪** を押して取り消したい時間を選びます。つぎに、**⏩** を押します。
時間を表わす数字が明滅します。
5. 画面上に **OFF** が現れるまで、**+** または **-** を押します。
6. **⏪** を押して、次のステップへ進みます。
(次は 4.5 " マニュアル " (手動) による灌水システムの操作へ進みますがこれで一応の設定は終了です。)
⏪ を押し進めて、メイン画面 (現在時刻表示) に戻しておきます。

3.6 灌水スケジュール（週毎）の設定の仕方（例）

例えば、毎週月曜日（Monday）と木曜日（Thursday）に、それぞれ AM 8:00、PM 1:00、PM 7:00 の 3 回、毎回 2 時間半づつ灌水するように灌水コントローラをプログラムしたい場合

1. 砂時計のマーク（）が現れるまで、 を押します。
2.  を押すと、時間を表わす数字が点滅します。時間を表わす数字が 2 を表示するまで  または  を押します。さらに  を押すと、分を表わす数字が点滅します。分を表わす数字が 30 を表示するまで  または  を押します。さらに  を押すと、秒を表わす数字が点滅します。秒は必要ないので数字は 00 のままにしておきます。
3.  を押します。こよみのマーク（）が現れます。
4.  を押すと、点滅する矢印（）が画面上部の M（Monday）の下に現れます。つぎに  を押します。M（Monday）の下の矢印は点灯し、右に一つだけ移動して次の T（Tuesday）の下に現れます。 を更に 2 回押すと矢印（）は Th（Th-ursday）まで移動しますので、そこで  を押します。（もし他の曜日の下に矢印が点灯している場合、点滅をその下に合わせ  を押して消してください。）
5.  を押します。（開始時刻）START I が現れます。さらに  を押すと、時間を表わす数字が点滅します。（OFF が点滅している場合、 または  を押せば時間を表わす数字が点滅します。）
6.  または  を押して、開始時刻を AM 8:00 にセットします。（注. AM および PM の表示は、時間を表わす数字の左側に現れます。）このステップを繰り返して、開始時刻 START II を 1:00 PM に、および開始時刻 START III を PM 7:00 にそれぞれセットします。
7.  を押します。（開始時刻）START IV が現れます。さらに  を押すと、時間を表わす数字が点滅します。
8. OFF が現れるまで  または  を押せば、開始時間 4 が取り消されます。
9.  をさらに押し進め、メイン画面（現在時刻表示）に戻しておきます。

4. その他のプログラム（オプション）

4.1 一回だけの灌水セットする

このオプションは、3.3 で設定された灌水時間の長さで灌水システムを指定された一回だけ作動させたい場合に灌水コントローラをプログラムするために用いられます。

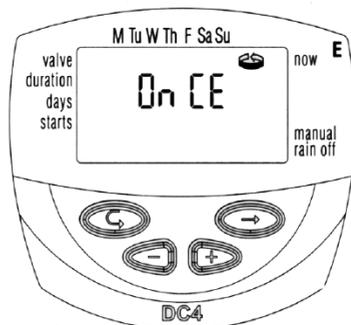
1. こよみのマーク（）が現れるまで、

 を押します。

2. 循環のマーク（）が現れるまで、 を押します（全ての曜日にたいして）。

0nCE が点滅します。

3. 開始時刻および開始日を設定するには、4.3 に進んでください。



4.2 循環かん水間断日数による灌水のサイクル（循環）をセットする

このオプションは、3.3 で設定された灌水時間の長さで灌水システムを循環方式（x 日ごとに一回）で作動させたい場合に灌水コントローラをプログラムするために用いられます。

1. こよみのマーク（）が現れるまで、

 を押します。

2. 循環のマーク（）が現れるまで

 を押します（全ての曜日にたいして）。

0nCE が点滅します。

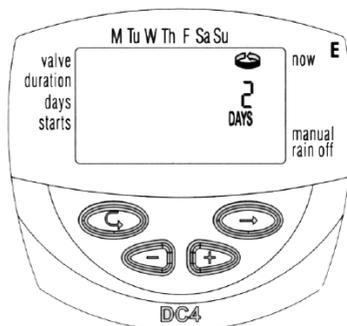
3. 表示を点滅させたままで、 または  を押します。

灌水システムのある稼働からつぎの稼働までのあいだの日数（即ち サイクル）を表わす数字が画面上の“DAYS”の上に現れます。

たとえば、表示が「2 DAYS」と現れれば、灌水の作動は、3.3 で設定された灌水時間の長さで二日に一回実行されます。

（1 DAYSは毎日、2 DAYSは1日おいて2日目になります。）

4.  または  を押して灌水頻度（日数）をセットします。

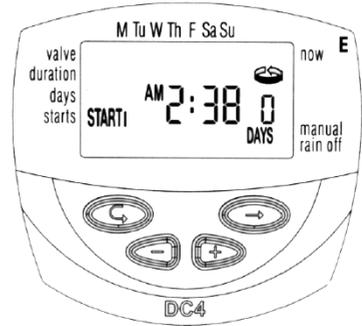


4.3 開始までの日数と時間をセットする（前述 1 回だけのかん水 4.1 と循環かん水 4.2 がセットされていなければ利用できません）

このオプションは、バルブが開く時間と最初に開くまでの日数をあらかじめ設定するために用いられます。バルブが開くまでの日数が画面上の灌水開始時刻の右（“DAYS”の上）に現れます。

0 DAYS = プログラムは本日開始、

1 = プログラムは明日開始、等々 30 日まで。



1. START I が現れるまで、 を押します。
入力されている最後の稼働時刻が画面に現れます。
2.  を押します。
時間を表わす数字が点滅します。
3.  または  を押して、希望する開始の時刻をセットし、同様にして分をセットします。
(注. AM および PM の表示は、時間を表わす数字の左側に現れます。)
4.  を押します。 開始時刻の右側（“DAYS”の上）の数字が点滅し始めます。
5.  または  を押して、バルブを開かせるまでの日数をセットします。
6.  を数回押してメイン画面（現在時刻表示）に戻ります。

* このモードでは、2、3、および 4 回目のバルブ開は設定できません。

4.4 サイクル（循環）スケジュールのプログラムの仕方（例）

例えば、3 日後から 5 日に一回、PM 12:45 に、毎回 1 時間ずつバルブを開けるように灌水コントローラをプログラムしたいものと仮定します。

1. 前記 3.3 のように灌水時間の長さを設定します（砂時計のマーク() が現れるまで  を押し、更に  または  を押して希望する灌水時間の長さを設定します。
2. こよみのマーク() が現れるまで、 を押します。
3. **ONCE** が点滅しながら画面上に現れるまで  を数回押します（全ての曜日にたいして）。
4. **ONCE** が点滅しているあいだに、 または  を押します。
画面の表示が、xx DAYS と読めます。
このばあいの xx は灌水頻度（1 で毎日、2 で 2 日に 1 回）を表わします。
5. 日数が 5 に変わるまで  を押します。
6.  を押します。START I が現れます。
7.  を押します。時間を表わす数字が点滅します。
8. 時間を表わす数字が PM 12 に変わるまで  又は  を押します。
9.  を押します。分を表わす数字が 45 に変わるまで  又は  を押します。
10. さらに  を押し、分の右側にある数字を 3 に変わるまで  又は  を押します。
11.  を押し進め、メイン画面（現在時刻表示）に戻しておきます。

4.4 .B 灌水サイクルモードにおける灌水ウィンドウ（時間枠）の設定

これは、サイクル灌水が、1 日の内のある決められた時間帯（昼間等）においてのみ実行されるように時間枠を設ける機能です。灌水ウィンドウは、まる 1 日よりも短い灌水サイクル（最大 23 時間 59 分）に対して、機能させることができます。逆に、灌水サイクルが 24 時間よりも長い場合は、ウィンドウ機能は自動的に無効になります。

設定例) AM9:00 から PM3:00 のウィンドウ（時間帯）で、1 時間毎に 10 分の灌水

1. 希望のバルブの灌水時間を 10 分に設定します。（前述の 3-3 P6）
2. 前述の 4-2/P10 の方法でサイクルを 1 時間に設定します。
3. 画面右側の W.open の欄に  が現れるまで  を押します。
OFF 又は前回設定されたウィンドウ（時間枠）の開始時刻が表示されます。
4.  又は  を押して、希望のウィンドウ開始時刻 AM9:00 を設定します。

5. ウィンドウクローズ (W.close) の欄に  が表示され

るまで  を押します。AM 又は PM12:00 か、又は前回設定されたウィンドウ（時間枠）終了時刻が表示されます。

⑥  を押して数字を点滅させ、 又は  を押し

て希望の終了時刻 PM3:00 に設定します。
注）灌水サイクルが 24 時間よりも長い時間でプログラムされると、灌水ウィンドウ機能は、自動的に無効になります。

重要 仮に入力されたウィンドウ開始時刻が現に設定している現在時刻よりも以前の時刻であった場合、実際にバルブが稼働し始めるのは翌日からになります。すぐにでも稼働させたい場合は、3.5(P8) の 1 回目灌水開始時刻を現在時刻の 2 ~ 3 分後に設定し強制稼働させて下さい。翌日以降は、ウィンドウ通りの時間帯で稼働し、1 回目灌水開始時刻は無視されます。



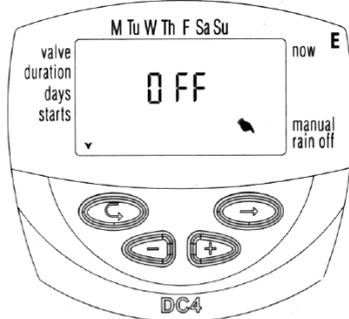
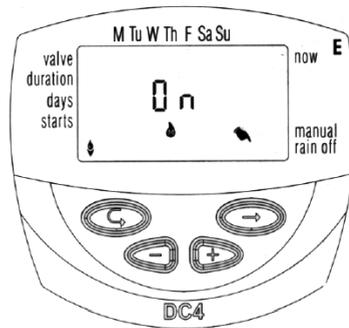
4.5 灌水コントローラを使って「マニュアル（手動）」でバルブを開閉する

このオプションは、選択されたバルブを一定のきめられた灌水時間の間稼働させるためのものです。バルブは、灌水時間の終了とともに自動的に閉まります。

注意：終了後は既に設定されているかん水スケジュールに復帰します。

1. 手のマーク () が現れるまで、 を押します。
2.  を押しと、“On” が画面に現れます。
バルブが開き、灌水時間のカウントダウンが始まります。
3. (3.3) で設定した時間の間バルブは開き、その時間が終了したら自動的に閉じます。
4. 強制的に手動で終了させる場合は、 を押ししてバルブを閉めます。

OFF が画面に現れます。



4.6 灌水コントローラの一時停止（例、降雨時）

このオプションは、例えば降雨時などにコントローラの動作を一時停止させるために用いられます。その間も灌水スケジュールはコントローラのメモリーのなかに保存されていますが、一時停止が取り消されるまでは適用されません。停止のオプションは、全ての灌水を無効化します。



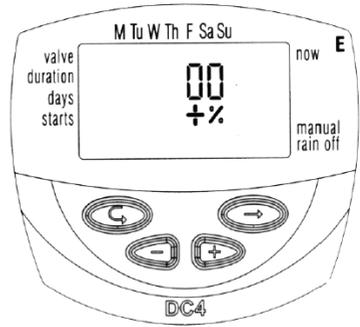
1. メイン画面（現在時刻表示）の状態にします。
2.  を約 5 秒間押し続けると rain off の横に蛇口のマーク（）が点滅しながら現れます。
この状態でコントローラーは一時停止しました。
3. コントローラーの機能を元に戻すには、メインの画面（現在時刻表示）の状態、蛇口のマーク（）が消えるまで  を押し続けます。

- * 灌水コントローラーの一時停止は、バルブが作動状態においても適用することができます。
- * 灌水コントローラーの一時停止中に、手動でバルブを開こうとしたり設定されているスケジュールにしたがってバルブを開こうとすると、画面上に rain が現れます。

4.7 一定の割合で灌水時間の長さの延長と短縮の仕方

一定の割合を設定することによって、
全てのバルブの灌水時間を同時に
延長または短縮することができます。

(例) 灌水時間が1時間に設定されている場合、
10%の延長は6分となり66分となります。



1. メイン画面（現在時刻表示）の状態にします。
2. **+**と**-**を同時に押すと、**00%**が表示されます。
3. **←**を押すと00が点滅します。**+**または**-**を押し、必要に応じて%の加減（10%単位）を行います。
4. **←**を押してメイン画面（現在時刻表示）に戻ります。
割合が設定されると、+%または-%が、時間の下に表示されます。

5. その他の表示画面（ディスプレイ）

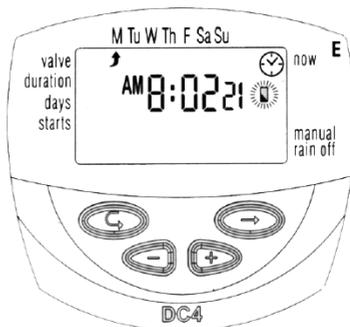
5.1 バッテリー切れ予告灯の点滅

バッテリーの残量が少なくなると、

画面上でバッテリーのマーク(☀)が点滅します。

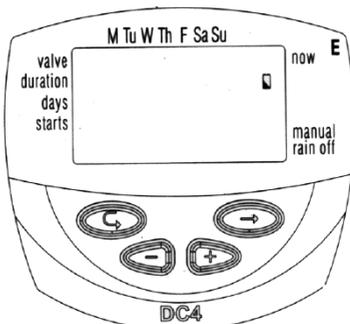
この場合でも、バルブを作動させるための限られた量のエネルギーがバッテリーのなかに残っていますが、バッテリーの交換はすぐに行ってください。

バッテリーを交換したあと、灌水コントローラの活動を復帰させるため、いずれかのボタンを押してください。プログラムのデータは、バッテリー交換中も約 30 秒間保持されます。



5.2 バッテリー切れ表示の点灯

残量の少ないバッテリーをそのままに交換せずにおくと、バッテリーのマーク(☹)が常時表示されます。それ以外のマークは全て消えてなくなり、全てのバルブは作動しません（閉状態）。プログラムのデータは、バッテリー交換中も約 30 秒間保持されます。

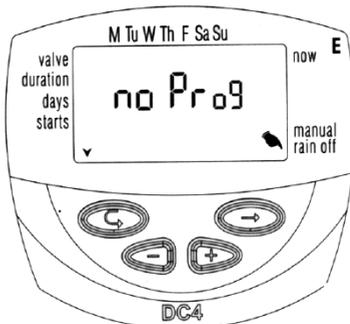


5.3 「no Prog」（プログラムデータなし）

灌水コントローラーで「マニュアル（手動）」によってバルブを稼働させるとき、画面上に **no Prog** の文字が現れる場合があります。

（4.5 手動灌水システム操作”参照）

（**no Prog** = 該当するバルブにたいして灌水時間の長さが設定されていないことを意味します。）このばあい、灌水コントローラーには、何時バルブを閉めたらよいか設定されておりませんので、この状態でバルブを開くことはできません。



5.4 センサーの利用

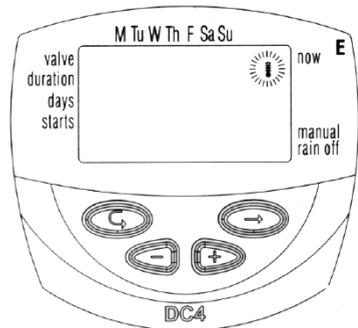
センサーを利用することによってコントローラーの自動灌水を一時的に回避することが可能です。使用できるセンサーは無電圧の接点端子付で、N.C.（通常時閉）タイプに限られます。

雨センサーを使用した場合、設定降水量をセンサーが感知すると接点が開き、コントローラーは全ての灌水を中止します。コントローラーの、センサーが乾き接点が開いてから再び灌水を自動で行います。

センサーとの接続

センサーを接続するには、コントローラーから出ている黄色のコードを利用します。コードをカットし被覆線を剥ぎ、これをセンサーのケーブルに接続します。

センサーが感知して接点が開いている間は、画面右上にのマークが現れ、センサーが作動していることを表示します。この間に、コントローラーは全ての灌水プログラムを中止します。バルブは稼働せず、灌水は行われません。

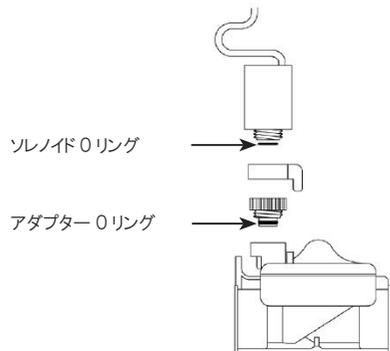


6. 保守点検

- ・ 灌水コントローラを長期にわたって使用しないときは、バッテリーは取り外してください。
- ・ バルブの一次側にフィルタを設置することを推奨します。
フィルターは、数ヶ月に一回は清掃してください。
目詰まりしたフィルターは、システムの不具合の原因となることがあります。
- ・ 普通の使い方、バッテリー（アルカリ）の寿命は約1年です。
毎シーズンの初めに古いバッテリーを新しいものと交換して下さい。
- ・ バルブにソレノイドを取り付けしないで、通水するのは避けてください。
アダプターに装着されているプランジャー等の部品が飛出し、バルブが作動できなくなる恐れがあります。
- ・ 使用圧力：1 ～ 6 kg/c m²

7. トラブル対策

トラブルの種類	原因	対策
自動の場合、又は手動でバルブが開かない	バルブ操作レバーが AUTO の位置にない	バルブ操作レバーを AUTO の位置に合わせる
	バッテリーの残量が少ない	バッテリーの交換
	バルブ又はソレノイドアダプターの通水穴にゴミが詰まっている	バルブ・ソレノイドアダプターを分解掃除し、ゴミを取り除く
表示がでない	バッテリーの残量がない	バッテリーの交換
カチッと音は聞こえるが、バルブが閉じない	バルブ操作レバーが AUTO の位置にない	バルブ操作レバーを AUTO の位置に合わせる
	ゴミやスケールがバルブ又はソレノイドアダプターの中に詰まっている	バルブ・ソレノイドアダプターを分解掃除し、ゴミを取り除くか、又は交換する
	ソレノイドOリングが紛失している	新しいOリングを装着する
ソレノイドアダプターとソレノイドの接続部分から水が漏れる	アダプターOリングが紛失している	新しいOリングを装着する



保証書

品名	製品番号	
ガルコン GT-6151		
保証期間対象部分	お買い上げ日から 1 年間	
※お買い上げ年月日	年 月 日	
※お客様名		
※ご住所 〒		
TEL ()		
※販売店名・住所・電話番号		
印		

保証書は※印欄に記入のない場合は無効となりますので記入をご確認下さい。
本保証書は日本国内においてのみ有効です。

持込修理

この製品はお客様にお持込または、ご送付頂く修理となっております。

株式会社 **イリテック・プラス**

宮崎 宮崎県都城市吉尾町 818 番地 1 TEL(0986)38-6500 FAX(0986)38-6655
千葉 千葉県柏市柏インター南 4 番地 2 TEL(04)7186-6259 FAX(04)7186-6269

●保証事項

1. 取り扱い説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証の記載事項に基づき、無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本保証書をご提示または添付の上、依頼して下さい。尚、送付される場合には送料をご負担ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - 1) 本保証書をご提示されないとき。
 - 2) 本保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの及び販売店名の表示のないとき。
 - 3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等、お取り扱いが不適当なために生じた故障及び損傷。
 - 5) 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取り扱いによって発生した故障及び損傷。
 - 6) 改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障及び損傷。
 - 7) 消耗品類の交換。
4. 本保証は、当該製品の有する機能が正常に作動することを保証するものであり、本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきまして当社はその責に任じません。
5. 修理内容によっては、代品による交換の場合もございます。
6. 本保証は、日本国内においてのみ有効です。
7. 本保証書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

株式会社 **イリテック・プラス**

宮崎 宮崎県都城市吉尾町 818 番地 1	TEL(0986)38-6500	FAX(0986)38-6655
千葉 千葉県柏市柏インター南 4 番地 2	TEL(04)7186-6259	FAX(04)7186-6269
